



# 桑の緑

小坂小学校 学校便り

令和3年12月9日  
文責：校長 江上 知男

## 児童会が「登校班復活プロジェクト」を開始！

週に2回「あいさつ運動」で校門に立っている児童会の子どもたち…「最近、全員揃っていない登校班が増えている」ことに気づき、「登校班復活プロジェクト」を立ち上げました。もちろん、登校班は様々な事情や気象状況等に影響を受けるのですが、子どもたちは「しっかり話し合ったり集合時間を工夫したりすれば、全員揃う班はもっと増えるのではないかと考えました。

児童会は、次のようなスケジュールでプロジェクトを進めるそうです。

(1) 登校班調査<12月7日(火)・10日(金)・14日(火)>あいさつ運動と平行して実施

(2) 登校班長会<12月17日(金)昼休み>

※調査結果をもとに、「揃って登校できる秘密は何か」「うまくいかない悩みは何か」等々を出し合う時間にするそうです。個々の相談は教職員が引き受けます。

(3) 登校班会<12月22日(水)5校時>地区児童会の時間を活用して実施

※登校班長会で話し合った内容を班長が班の仲間に伝えるとともに、3学期の登校班について目標を決めていくそうです。

学校としては、「登校班のメリット」を次のように考えています。

### (1) 子どもが安全に登校できる

- ・子どもが1人で登校すると犯罪を含むトラブル等に巻き込まれる危険性があるが、登校班で登校していればトラブル等に巻き込まれる危険性が低くなる。
- ・登校中に体調不良・ケガなどの困ったことがあっても、周りにいる友達が助けてくれる。

### (2) 生活習慣の確立や心の成長につながる

- ・集合時刻に合わせて起床や朝食等を行うので、毎朝の生活が規則正しくなる。
- ・友達への影響を考慮して集合時刻に遅れないようにするので、相手意識が高まる。

### (3) 縦割りの人間関係を学べる

- ・登校班には様々な学年の子どもがおり、自然と縦割りの人間関係を学べる。
- ・低学年は高学年と登校することで、交通ルール・地域の方へ対応など様々なことを学べる。高学年は低学年の面倒を見ることで、リーダーシップや責任感が芽生える。

登校の状況をより良くしていくためには、「家を集合時刻に間に合うように出発させる」「時々登校の様子を見てもらう」など、ご家庭の協力が不可欠です。どうか、「登校班のメリット」をご理解いただき、児童会の取組に力を貸していただければありがたいです。よろしくお願いします。

## 第2回学校運営協議会を開催！

12月7日(火)に、学校運営協議会を開催しました。また、併せて民生委員児童委員との意見交換会も実施しました。

授業参観では、各教室の学習の様子を見ていただきましたが、最も驚かれたのは「英語」でした。子どもたちが、あまりにもはきはきと楽しそうに言葉にしている様子に、「今の子どもたちはすごい!」と感想を述べられていました。



授業参観の様子

参観後の協議会では、「英語教育」に加え、「読み聞かせ」「タブレット」「地域ボランティア」など様々なことが話題になりましたが、最も熱心に協議されたことは、「人権学習」や「いじめ」のことでした。委員からは、学校の考え方を問われるのとともに、「小さな問題を見逃さない先生と子どもたちの関わりや信頼関係」「先生たちが確実に情報共有できる風通しの良い組織」などの意見をいただきました。その指摘の的確さに、校長として心からありがたく思いました。